

資料 3-2 関係者向けアンケート

平成 15 年度 e! プロジェクト - 農業 - 畜産物情報追跡管理システム 生産・加工・販売関係者アンケート

ご職業を選んでください。(牧場関係者、食肉処理関係者、食肉販売関係者、その他)

畜産物情報追跡管理システムは、安全な商品を安心して消費者に購入して頂くことを主目的とした、トレーサビリティシステムです。枝肉に電子タグを装着し、加工を経て小売店で販売されるまでを追跡します。消費者は小売店で電子タグを使って、牛の情報や、牛肉の流通履歴を閲覧することができます。(別紙に参考資料としてシステムの説明資料を添付)

- (1) トレーサビリティシステムを導入することによって考えられるメリットを挙げて下さい。(複数選択可)
- 風評に関係なく、消費者に安心して商品を購入してもらうことができる
生産情報や流通情報の公開により、商品をアピールすることができる
その他(具体的に)[]
- (2) トレーサビリティシステムを導入することによって考えられるデメリットを挙げて下さい。(複数選択可)
- 対応作業が増えて、生産性が落ちる
システム導入・運用のコストにより、商品価格が上がってしまう
その他(具体的に)[]
- (3) 本システムを実際に導入した場合、どの程度作業に影響が出ると思われますか。(単一選択)
- 作業への影響は非常に大きく、導入は現実的ではない
作業に影響はあるが、作業フローとシステムの歩み寄り導入は実現可能
作業にほとんど影響がない
システムを見ていないので分からない
その他(具体的に)[]
- (4) 本システム導入により発生するコストは、どの程度商品価格に反映すべきと思われますか。(単一選択)
- 安心料として消費者が全額負担すべき
消費者も多少は負担すべき
できるだけ消費者に負担させるべきではない
その他(具体的に)[]

(次項に続く)

資料 3-2 関係者向けアンケート

- (5) 本システムの導入により、牛肉の偽装行為はどの程度防ぐことが可能だと思われませんか。また実際に偽装があった場合の発見に効果があると思われませんか。(単一選択)できれば ~ の場合は理由もお書き下さい。
- ほとんどの偽装行為に対して防御効果があり、偽装の発見効果も高い
偽装防止・発見に関してある程度は効果が期待できる
偽装防止・発見に関してほとんど効果が期待できない
- ~ の理由[]
- 分からない
- その他(具体的に)[]
- (6) 万が一品質上問題のある牛肉が流通してしまった場合であっても、本システムにより問題の牛肉の流通を特定し、商品を回収することができるといった効果はどの程度あると思われませんか。(単一選択)できれば ~ の場合は理由もお書き下さい。
- 問題のある牛肉の流通を特定し、商品を回収することによりかなりの効果が期待できる
問題のある牛肉の流通を特定し、商品を回収することによりある程度の効果が期待できる
問題のある牛肉の流通を特定し、商品を回収することによりほとんど効果が期待できない
- ~ の理由[]
- 分からない
- その他(具体的に)
- (7) 本トレーサビリティシステムで消費者に公開している情報についてお聞かせ下さい。(単一選択)
- 十分な情報が提供されている
情報が不足している
- 理由も含めて具体的に[]
- 公開しないほうが良い情報が公開されている
- 理由も含めて具体的に[]
- 分からない
- (8) 本トレーサビリティシステムに対して、ご自由なご意見をお書き下さい。

ご協力有難う御座いました。

資料 3-3 消費者向けアンケート

平成 15 年度 e! プロジェクト - 農業 - 畜産物情報追跡管理システム アンケート

畜産物情報追跡管理システムは、商品の生産地や流通経路を管理し、安全な商品を安心して購入して頂くことを主目的としたシステムです。(別紙に参考資料としてシステムの説明資料を添付)

本アンケート用紙にご記入頂き、回収箱にご投函頂く(当日のみ有効)か、添付のハガキにアンケートの回答をご記入頂き、期日(2004年3月22日消印有効)までにご投函下さった方に粗品をプレゼントさせていただきます。

- (1) 本システムで公開されている情報の充実度についてのご意見をお聞かせ下さい。(単一選択)

安心して商品を購入できるだけの十分な情報が公開されている
さらに公開する情報を増やして欲しい(理由も含めて具体的に)

- (2) 本システムによって、商品を安心して購入することができると思われませんか。(単一選択)

安心して購入できる
どちらかといえば安心して購入できる(トレーサビリティシステムが無いよりは良い)
変わらない(システムが無くても良い)

- (3) (2)項で選択した回答の理由をお聞かせ下さい。

- (4) トレーサビリティシステムにより情報追跡された牛肉が、そうでない牛肉に比べてどの程度高価であっても購入したいと思われませんか。(単一選択)

2倍以上	1.5倍程度	1.3倍程度	1.2倍程度
1.1倍程度	1.05倍程度	同額であれば購入したい	
同額であっても購入したくない			

- (5) トレーサビリティシステムに対して、自由なご意見をお書き下さい。

ご協力有難う御座いました。

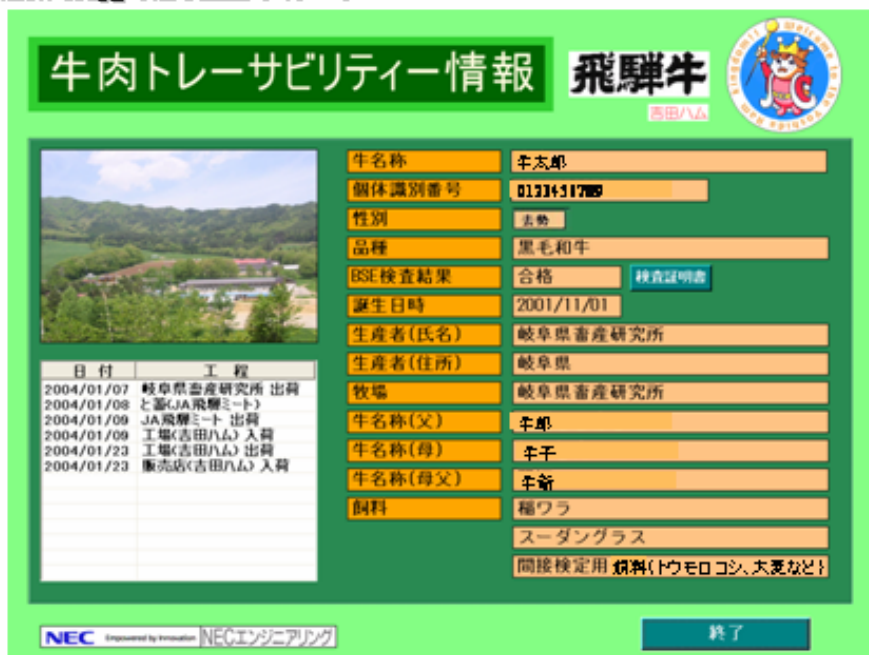
(アンケート別紙) 畜産物情報追跡管理システム
 ～牛肉のトレーサビリティシステム～
 ご説明資料

※アンケートにお答え頂くための参考資料として下さい。

概要

牛の**個体情報(品種、血統、飼料)**に加え、**生産地から小売店までの流通**を記録することで、安全な牛肉を安心して購入頂く為の**情報公開**を実現すると共に、偽装などの**不正行為を防止・抑止**する効果も狙ったシステムです。

店頭で閲覧可能な画面のイメージ



※画面の情報はイメージで実際の牛情報ではありません。

主な特徴

- 牧場、と畜場から加工工場、小売店に至るまでを追跡
- 牧場、と畜場などの名称はもちろん、各場所の出入荷日、BSE検査証なども表示
- 肉の重量を管理しているので、例えば品質の低い牛の肉を品質の高い牛の肉と偽って流通させることが困難
- 肉をカットする過程で、元となった肉のIDタグが無ければ、カット後の肉のIDタグが作成できないため、偽装が困難
- IDタグと管理サーバでデータを2重管理し、データのマッチングを行うのでデータが改竄されにくい

(裏面にシステムのイメージ図があります)

トレーサビリティシステムのイメージ

